



占板(個人蔵)

和泉市文化財保護条例施行 20 周年記念
信太の森ふるさと館平成 28 年度特別企画

陰陽道の 世界

前期「和泉地方と陰陽道」

平成 28 年 9 月 6 日(火)～10 月 2 日(日)

後期「陰陽師の生業 ―信太暦と信太陰陽師―」

平成 28 年 10 月 8 日(土)～11 月 13 日(日)

◆ 記念講演会

9 月 18 日(日)

「近世・畿内の陰陽師 ―『歴代組(れきだいぐみ)』と呼ばれた者たち―」

講師 秋山 浩三氏(大阪府立弥生文化博物館 副館長兼学芸課長)

◆ 歴史講座

10 月 30 日(日)

「中世後期の安賀両家 ―清明と光栄の後裔―」

講師 細田 慈人(信太の森ふるさと館 学芸員)

時 間 午後 1 時 30 分から 3 時 30 分

定 員 50 名(先着順・記念講演会のみ正午より整理券配布)

参加費 無料

◆ 学芸員による展示解説

9 月 25 日(日)・10 月 16 日(日)

時間 午後 1 時 30 分から(約 1 時間)

信太の森の鏡池史跡公園

信太の森ふるさと館

〒594-0004 和泉市王子町 914-1

TEL・FAX 0725-45-0605

〔開館時間〕 午前 10 時～午後 5 時

〔休館日〕 月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日
10 月 3 日(月)～10 月 7 日(土)

〔入館料〕 無料

〔交 通〕 JR 阪和線 北信太駅より南へ徒歩 20 分／
南海バス 北信太駅筋より「鶴山台方面」行き乗
車・「鶴山台センター」下車 徒歩数分
※駐車場がございません。公共交通機関をご利用
ください。



陰陽道の世界

天文を観測し、暦日を計算し、暮らしの中の禁忌を調べ、吉凶を占う。古代から中世の古記録には、そうした陰陽師たちの姿が頻繁に登場します。陰陽師は、当時を生きる人々にとって「博士」であり、欠くことのできない存在だったのです。超能力者のような安倍晴明の伝説は、人々の陰陽師に対する全能者観の表れともいえます。

時代が変わり江戸時代になると、それまで各地で暦を作り、護符を刷るなど民衆の中で陰陽道を職掌としていた者は、土御門家の支配下におかれました。かつて信太に居住し、暦を作成していた信太陰陽師も土御門家の配下におかれ、独自に暦（信太暦）を配ることが難しくなりました。

前期展示では、安倍晴明の第四霊場となった信太にちなみ、安倍晴明伝説の歴史的変遷を通して伝説の広がりとその影響を考えます。

後期展示では、「幻の信太暦」ともいわれる信太暦を全点紹介し、信太暦と信太陰陽師の実像に迫るとともに、暦の作成だけではない陰陽師の生業について明らかにします。

安倍晴明の誕生譚、「葛の葉伝説」が残る信太の森で「陰陽道の世界」を覗いてみてください。



大園遺跡出土土馬（復元模型）
（和泉市教育委員会蔵）

【主な展示品】

＜前期＞「和泉地方と陰陽道」

9月6日(火)～10月2日(日)

元禄十七年信太暦（個人蔵）

府中遺跡出土祭祀用の小型壺（古墳時代）（和泉市教育委員会蔵）

大園遺跡出土土馬（奈良時代）（和泉市教育委員会蔵）

＜後期＞「陰陽師の生業 一信太暦と信太陰陽師一」

10月8日(土)～11月13日(日)

信太暦版木（小谷城郷土館蔵）

元禄十五年信太暦（個人蔵）

元禄十七年信太暦（個人蔵）

信太陰陽師護符版木（小谷城郷土館蔵）

信太陰陽師護符（個人蔵）

占板（個人蔵）

『簞簞内伝』（個人蔵）

嘉永四年伊勢暦（個人蔵）

嘉永四年京暦（個人蔵）

『立表測景暦日諺解』（和泉市教育委員会蔵）



元禄十五年信太暦（個人蔵）より



元禄十七年信太暦
（個人蔵）